

平成28年度 沢保育園建設事業 園庭整備工事

平成29年11月

(株) 城取建築設計事務所

平成28年度 沢保育園建設事業 園庭整備工事

工事仕様書

建築工事仕様書

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「木造建築工事標準仕様書（平成28年版）」（以下本仕様書）という。）による。また、本仕様書に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（平成28年度版（以下「標仕」という。）による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は（E－1）図、機械設備工事の工事仕様書は（M－1）図による。

(3) 請負業者は完了検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める資料等（報告書等）を用意すること。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に ○印 のついたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印 の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、本仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の【 】内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5) □印は、「図等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」（平成28年2月）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。

(6) 本仕様書で、標仕で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・性能・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、寒冷地法令等の遵守（JIS 1.13）の規定を優先する。

章	項目	特記事項
1  一般 共通 事項	○適用基準等	○建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成28年版） ○工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ○建築解体工事共通仕様書・同解説 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成24年版）  ○適用する（I.1.3） ・適用する（I.1.3.3）  本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。 総合施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムにデータ入力を行う。また、同システムにより、工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、工事完了時に同計画書の実績報告書（書式は同一）を作成し、監督員に提出する。  ・特定建設資材の分別解体及び再資源化等 本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日 法律第104号）以下「建設リサイクル法」という。）施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約明らかならなくなったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。  また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をえた施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面に監督職員に報告する。
	○届出手続等	
	・電気保安技術者	
	○発生材の処理等	
	別解体の方法	
	工 程	作 業 内 容 手作業 機械作業併用（範囲） ○新築工事 ・増築工事 ・造成等の工事 ・基礎の工事 ・基礎ぐいの工事 ・上部構造部分の工事 ・外装の工事 ・屋根の工事 ・建築設備工事 ・内装等の工事 ・その他（ ）
	特定建設資材産業物の種類と再資源化等をする施設	特定建設資材産業物の種類 再資源化等をする施設の名称 所 在 地 ・コンクリート ○監督職員との協議による ・コンクリート塊及び敷か成る建設資材 ○監督職員との協議による ・木材 ○監督職員との協議による
	化学物質を放散させる建築材料等	本工事の建築内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所用の品質及び性能を有すると共に、次の1）から5）を満たすものとする。 1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材、ユリア樹脂板、仕上塗料及び壁紙はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 2）保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド又はステレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 3）接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑材使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 5）1）、3）及び4）の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台その他什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次の通りとする。
	ホルムアルデヒド放散量	規制対象外 ① JIS 及び JAS の F☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③次の表示のある JAS 適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
	第三種	① JIS 及び JAS の F☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③旧 JIS E-品 ④旧 JAS E-品

章	項目	特記事項
3  土・地業・コンシリエント・サイター・ハウス・ビル・コンシリエント・サイター・ハウス・ビル	○材料の品質等	(I.4.2) ※本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS 又は JAS マーク表示のない材料及びその製造者は、次の1）から6）の事項を満たすものとする。 1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3）安定的な供給が可能であること。 4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6）販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員に承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品または同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受けること。  ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、「木材・木材製品ほ法活性・持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁平成18年2月15日）に準拠した証明書、監督職員に提出する。  標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。(I.5.2)
	○特殊な材料の工法	
	○技能士	(I.5.2)
	工事種目	技能検定職種 技能検定作業 仮設工事 とび ・とび作業 鉄筋工事 鉄筋施工 ○鉄筋組立作業 コンクリート工事 型枠施工 ○型枠工事作業 鉄骨工事 鉄工 ・構造物鉄工作業 とび ・とび作業 コンクリートブロックR/Hバル ブロック建築 ・コンクリートブロック工事作業 押出成形セメント板工事 エーエルシーバルネル工事 ・エーエルシーバルネル工事作業 防水工事 防水施工 ・777防水工事作業 ・クリナール系塗膜防水工事作業 ・777防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ポリウレタン系防水工事作業 ・シリコン防水工事作業 ・改質777シート防水工事作業 ・FRP防水工事作業 石工事 石材施工 ・石張り作業 タイル工事 タイル張り ・タイル張り作業 木工事 建築大工 ・大工工事作業 ・とび作業 屋根及びとい工事 建築板金 ・内外装板金作業 スレート施工 ・スレート工事作業 金属工事 内外装仕上施工 ・鋼製下地工事作業 建築大工 ・内外装板金作業 左官工事 左官 ○左官作業 建具工事 サッシ施工 ・ビル用サッシ施工作業 ・木造用サッシ施工作業 ガラス施工 ・ガラス工事作業 木製建具施工 ・木製建具施工作業 自動ドア施工 ・自動ドア施工作業 カーテンウォール工事 カーテンウォール施工 ・金属製カーテンウォール工事作業 塗装工事 塗装 ・建築塗装作業 内装工事 内装仕上施工 ・アラマク系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・畳作成作業 表装 ・壁紙作業 配管 ・建築作業配管 舗装工事 路面表示施工 ・溶融バグスター工事作業 ・加熱バグスター工事作業 植栽工事 造園 ○造園工事作業
	○完成時の提出図書	(I.7) ※完成時 C A D データ 提出部数： 1部 A 3複写図（製本）提出部数： 3部 A 1複写図（製本）提出部数： 3部 ※施工計画書 A 4ファイル綴じ 提出部数： 1部 データ 提出部数： 0部 ※保全に関する資料（「建築物等の利用に関する説明書」を除く） 提出部数： 1部 データ 提出部数： 1部 C A D データ 提出部数： 1部 A 1版原図 提出部数： 1部  ※図示 ・監督員の指示による  次のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。 分類、規格 撮影箇所数 提出部数 原稿の大きさ(mm) ・モノクローム ※キャビネ板 外部（ ） 内部（ ） ※2 ・ ※100×125以上 ・ ※キャビネ板 外部（10） 内部（ ） ※2 ・ 6 ※100×125以上 ・ ※5 ・ 3 ・ カラー四切木製パネル 外部（ ） 内部（ ） ※2 ・ ・ カラー半切木製パネル 外部（ ） 内部（ ） ※2 ・ ○電子データ 外部（ ） 内部（ ） ※2 ・ ※200画面以上 ※300dpi以上 ※監督職員との協議による  撮影業者は寒竹完成写真の撮影実績のある者で、監督職員が承諾する撮影業者とする。 電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、GD-Rにて提出する。
	○設計 G L	
	○完成写真	
	○足場その他	(2.2.4) 足場を設ける場合、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成22年度版 2.2.4(b)によるほか、設置においては、「手すり先行工法による足場組立等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は、(3)手すり先行専用足場方式により行うこと  ※設ける ・規模及び仕上の程度、並びに設置に関する備品の種類及び数量は現場説明書による（2.3.1） ・図示 ・2号（20㎡程度） ・仮設計画図による（工事用事務所に打合せ併設） ・設けない  構内既存の施設 ・利用できる（※有償・無償） ※利用できない 構内既存の施設 ・利用できる（※有償・無償） ※利用できない
	○工事用水	
	○工事用電力	

章	項目	特記事項																											
4  排水工事	○型 枠	せき板の材料 [6.8.3] ○合板 建築の有無 ※無 ○有 ・オーバーレイ 材質 ※複合合板 ・針葉樹合板 ・南洋材合板 厚さ ※12mm ・																											
	○排水管	[21.2.1] 【表21.2.1】 <table><tr><th>材 種</th><th>管の種類</th><th>形状</th><th>呼び径</th><th>備考</th></tr><tr><td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td><td>※外圧管</td><td>・B形管</td><td>・図示</td><td></td></tr><tr><td>○硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>○V P (1種)</td><td></td><td>○図示</td><td></td></tr><tr><td></td><td>○V U</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・RS-VU G</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	材 種	管の種類	形状	呼び径	備考	・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管	・B形管	・図示		○硬質ポリ塩化ビニル管	○V P (1種)		○図示			○V U					・RS-VU G					
	材 種	管の種類	形状	呼び径	備考																								
	・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管	・B形管	・図示																									
	○硬質ポリ塩化ビニル管	○V P (1種)		○図示																									
		○V U																											
		・RS-VU G																											
	○グレーティング	[21.2.2] <table><tr><th>種 類</th><th>形 式</th><th>用 途</th><th>適用荷重</th><th>KVc-2" 普通目 細目</th><th>蓋板のつき (付着量)</th><th>上面形状</th></tr><tr><td>○樹脂製</td><td>※受枠付 ・ポルト 固定</td><td>・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用)</td><td>○歩行用 ・T-2 用 ・T-6 用 ・T-14 用 ・T-20 用</td><td>・ ・ ・ ・ ・</td><td>・ ・ ・ ・ ・ (500 g/㎡)</td><td>※凹凸形 ・平形</td></tr><tr><td>○鋼製</td><td>※受枠付 ・ポルト 固定</td><td>・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用)</td><td>○歩行用 ・T-2 用 ・T-6 用 ・T-14 用 ・T-20 用</td><td>・ ・ ・ ・ ・</td><td>・ ・ ・ ・ ・ (500 g/㎡)</td><td>※凹凸形 ・平形</td></tr></table>	種 類	形 式	用 途	適用荷重	KVc-2" 普通目 細目	蓋板のつき (付着量)	上面形状	○樹脂製	※受枠付 ・ポルト 固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用)	○歩行用 ・T-2 用 ・T-6 用 ・T-14 用 ・T-20 用	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ (500 g/㎡)	※凹凸形 ・平形	○鋼製	※受枠付 ・ポルト 固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用)	○歩行用 ・T-2 用 ・T-6 用 ・T-14 用 ・T-20 用	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ (500 g/㎡)	※凹凸形 ・平形						
	種 類	形 式	用 途	適用荷重	KVc-2" 普通目 細目	蓋板のつき (付着量)	上面形状																						
	○樹脂製	※受枠付 ・ポルト 固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用)	○歩行用 ・T-2 用 ・T-6 用 ・T-14 用 ・T-20 用	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ (500 g/㎡)	※凹凸形 ・平形																						
○鋼製	※受枠付 ・ポルト 固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用)	○歩行用 ・T-2 用 ・T-6 用 ・T-14 用 ・T-20 用	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ (500 g/㎡)	※凹凸形 ・平形																							
○樹木の植栽基盤整備	芝及び地被類 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.1) (表23.2.2) <table><tr><th>通 用</th><th>有効土層の厚さ (cm)</th><th>工 法</th><th>整 備 範 囲</th></tr><tr><td>○※行方 ・行わない</td><td>※20 ・</td><td>※B種 ○D種</td><td>※植栽範囲 ○図示</td></tr></table> 樹木 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.1) (表23.2.2) <table><tr><th>樹木の樹高</th><th>有効土層の厚さ (cm)</th><th>工 法</th><th>整 備 範 囲</th></tr><tr><td>・12以上</td><td>※100 ・120 ・150</td><td>※A種</td><td>○※環状の範囲</td></tr><tr><td>・7以上～12未満</td><td>※80 ・100</td><td>・B種</td><td>ただし、低木は植栽範囲</td></tr><tr><td>・7以上～7未満</td><td>※60 ・80</td><td>・C種</td><td>・図示</td></tr><tr><td>・7未満</td><td>※50</td><td>・D種</td><td></td></tr></table> 工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植え込み用土で盛土を行う。	通 用	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整 備 範 囲	○※行方 ・行わない	※20 ・	※B種 ○D種	※植栽範囲 ○図示	樹木の樹高	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整 備 範 囲	・12以上	※100 ・120 ・150	※A種	○※環状の範囲	・7以上～12未満	※80 ・100	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・7以上～7未満	※60 ・80	・C種	・図示	・7未満	※50	・D種	
通 用	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整 備 範 囲																										
○※行方 ・行わない	※20 ・	※B種 ○D種	※植栽範囲 ○図示																										
樹木の樹高	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整 備 範 囲																										
・12以上	※100 ・120 ・150	※A種	○※環状の範囲																										
・7以上～12未満	※80 ・100	・B種	ただし、低木は植栽範囲																										
・7以上～7未満	※60 ・80	・C種	・図示																										
・7未満	※50	・D種																											
○植込み用土	※現場発生土の良質土 ○寄 土 (※畑土 ・黒土) (23.2.3)																												
3. 土壌改良材	※適用する (23.2.3) (23.2.4) 施工箇所 ※植栽範囲 ○図示 (土壌改良剤：東邦シオネオ/ホニエッセン Type A 同等以上)																												
○支柱材	○※杉、ひのきは又はから松（皮はぎもの、間伐材） ※加圧式防腐処理 (23.3.3) ○真竹（良質な2年生以上）																												
○幹巻き用材料	※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)																												
○芝張り	種類 ※こうらい芝 ○野芝 (ゾイザグランド) 雑草の防止に効果的 工法 ・目地張り ○べた張り ・播種 (23.4.2)																												
○枯補償等	新植樹木の枯補償の期間 ※1年 ・ (23.3.4) 移植樹木の枯補償の期間 ※1年 ・ (23.3.6) 芝及び地被類の枯補償の期間 ※1年 ・ (23.4.7) (23.3.4)																												

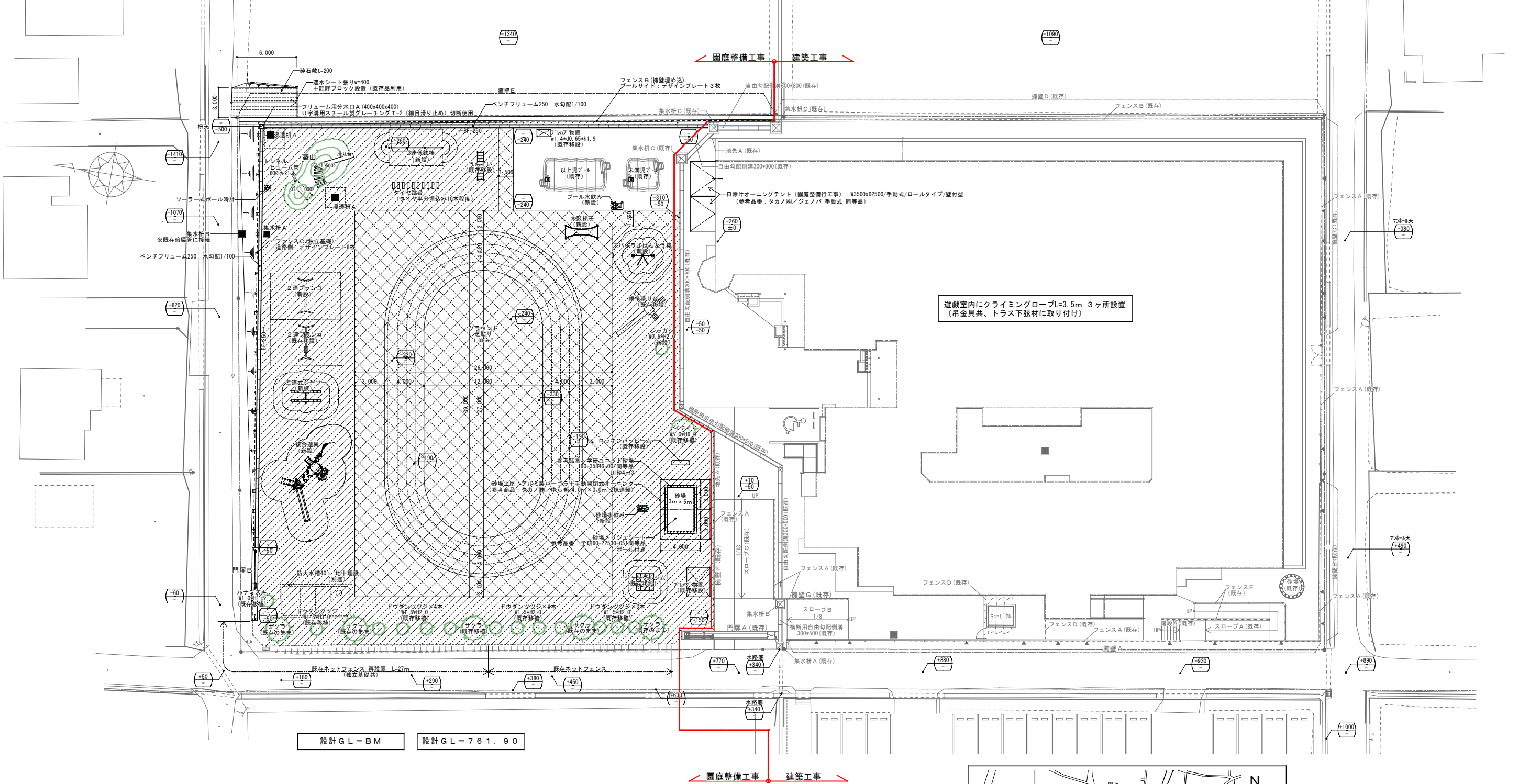
章	項目	特記事項
6  その他	○保険等	本建築引渡まで請負者は工事目的物、工事材料等について火災保険をかける。 工事期間中は請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は請負者とする。
	○その他	暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

株式会社 城取建築設計事務所

一般建築士事務所登録：長野県知事登録（上伊）第7051号  
（管理建築士）  
一般建築士登録 第9431号  
伊 澤 吉 吾

社 長 主 任 担 当 設 計 者 凡 例 備 考  
一般建築士 大丘登録第09032号  
宮 脇 孝 夫  
CAD FILE No. G-01 特記仕様書-1

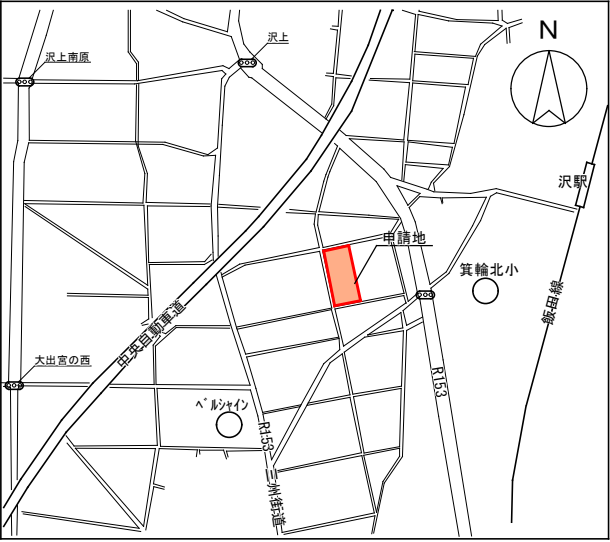
工事名 平成28年度 沢保育園建設事業 園庭整備工事  
図面名称 特記仕様書  
縮 尺 Non Scale  
年 月 日 H29.11.20  
No. G-01



凡例

- 上段：現状の高さ（単位：m）
- 下段：設計GLよりの高さ（単位：mm）

記号・表示 / 凡例・内容・面積		
(A)	アスファルト舗装(密粒度アスコン)	フェンスA 参考品番：朝日ガードフェンスA規格型H=1400(樹脂コート製品) (独立基礎：R2-K1400=C—擁壁埋め込—R2-K1400=M—)
(B)	カラースチールプレート舗装(密粒度アスコン)	フェンスB 参考品番：朝日かくしフェンスH=1500(樹脂コート製品) (擁壁埋め込：XW-1500-M)
(C)	山砂敷t=100	フェンスC 参考品番：朝日かくし遮音フェンスH=1500(樹脂コート製品) (独立基礎：XW-1480-SH)
(D)	砕石敷（特記なきはt=150）	道路側8枚：デザインプレート
(E)	芝貼り	フェンスD 参考品番：朝日セキストンスルダ規格型H=1200(樹脂コート製品) (独立基礎：PM=H200)
(F)	透水水性ゴムチップ舗装t=10	フェンスE 参考品番：朝日ガードフェンスA規格型H=800(樹脂コート製品) (擁壁埋め込：R2-K800=M)
(G)	コンクリート舗装t=20コンクリート仕上げ	



案内図



株式会社 堀取建築設計事務所

(管理建築士)  
一級建築士登録 第8431号  
伊澤 省吾

社長

主任

担当

設計者  
一級建築士 大塚登録第9502号  
宮脇 孝夫

凡例備考

CAD FILE No. G-02 外構図配置図-1

工事名 平成28年度 沢保育園建設事業 園庭整備工事

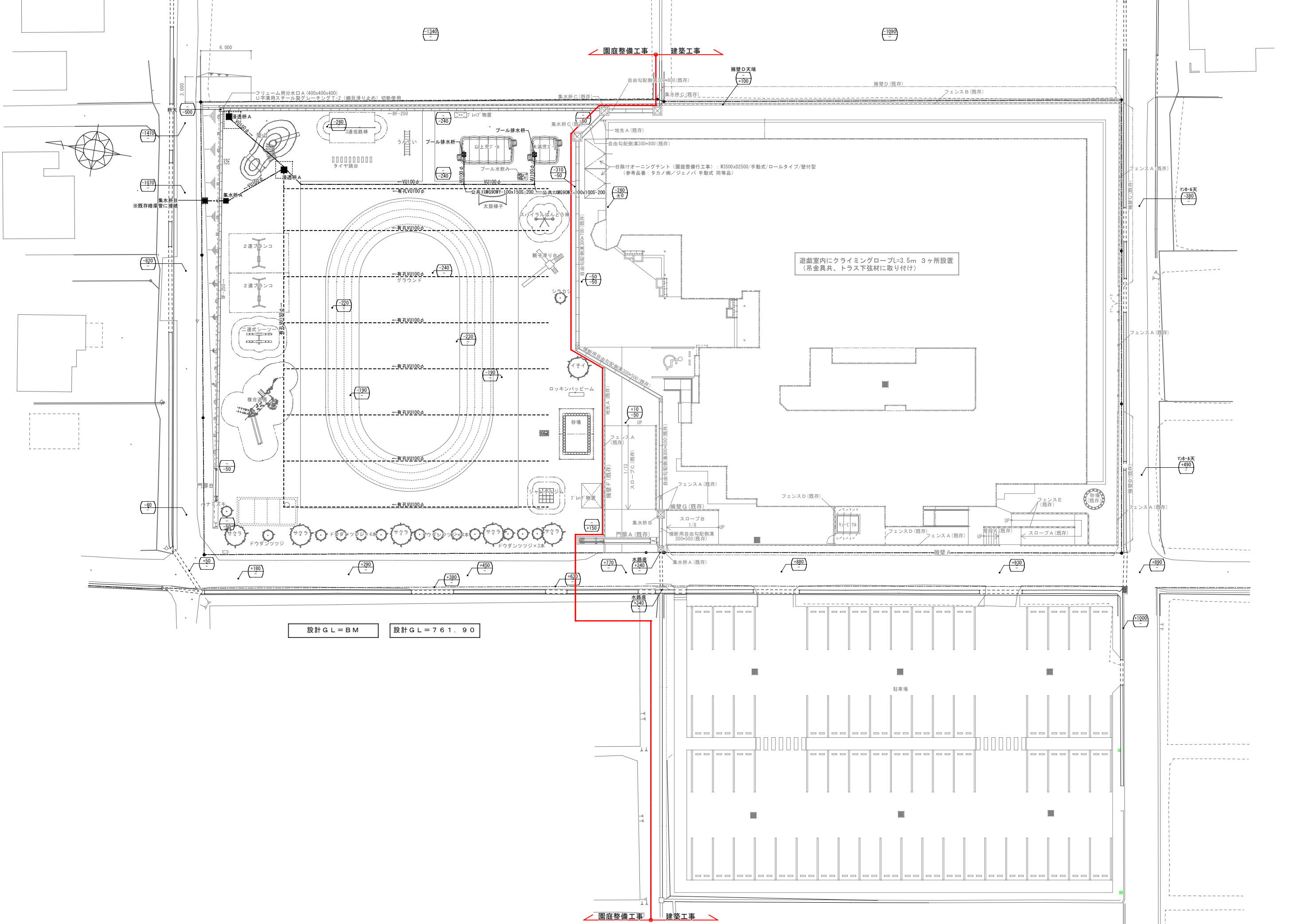
図面名称

外構配置図-1  
舗装・遊具・工作物

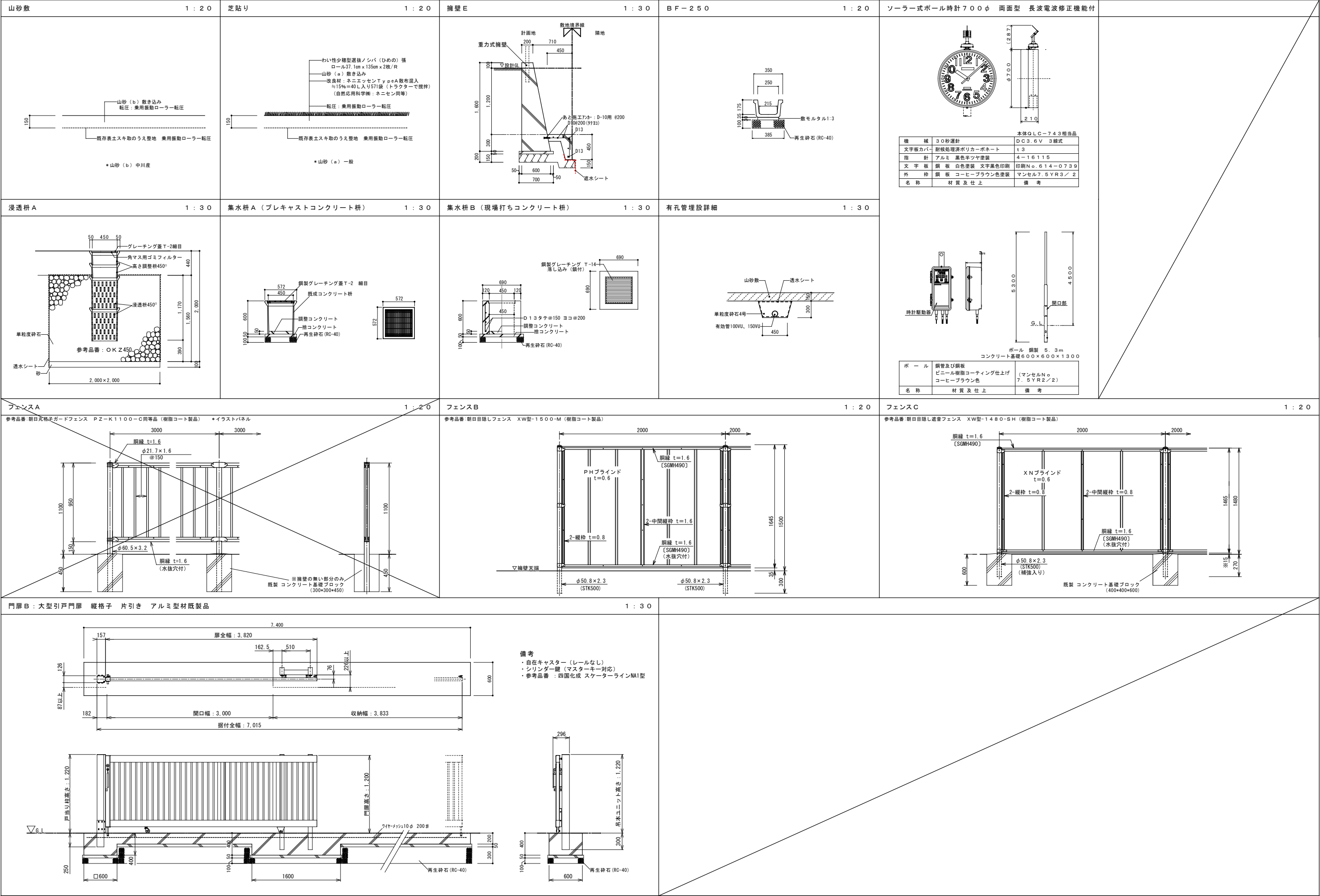
縮尺  
A1 1:200  
(A3 1:400)

年月日  
H29.11.20

No.  
G-02







フェンス A

1 : 2 0

フェンス B

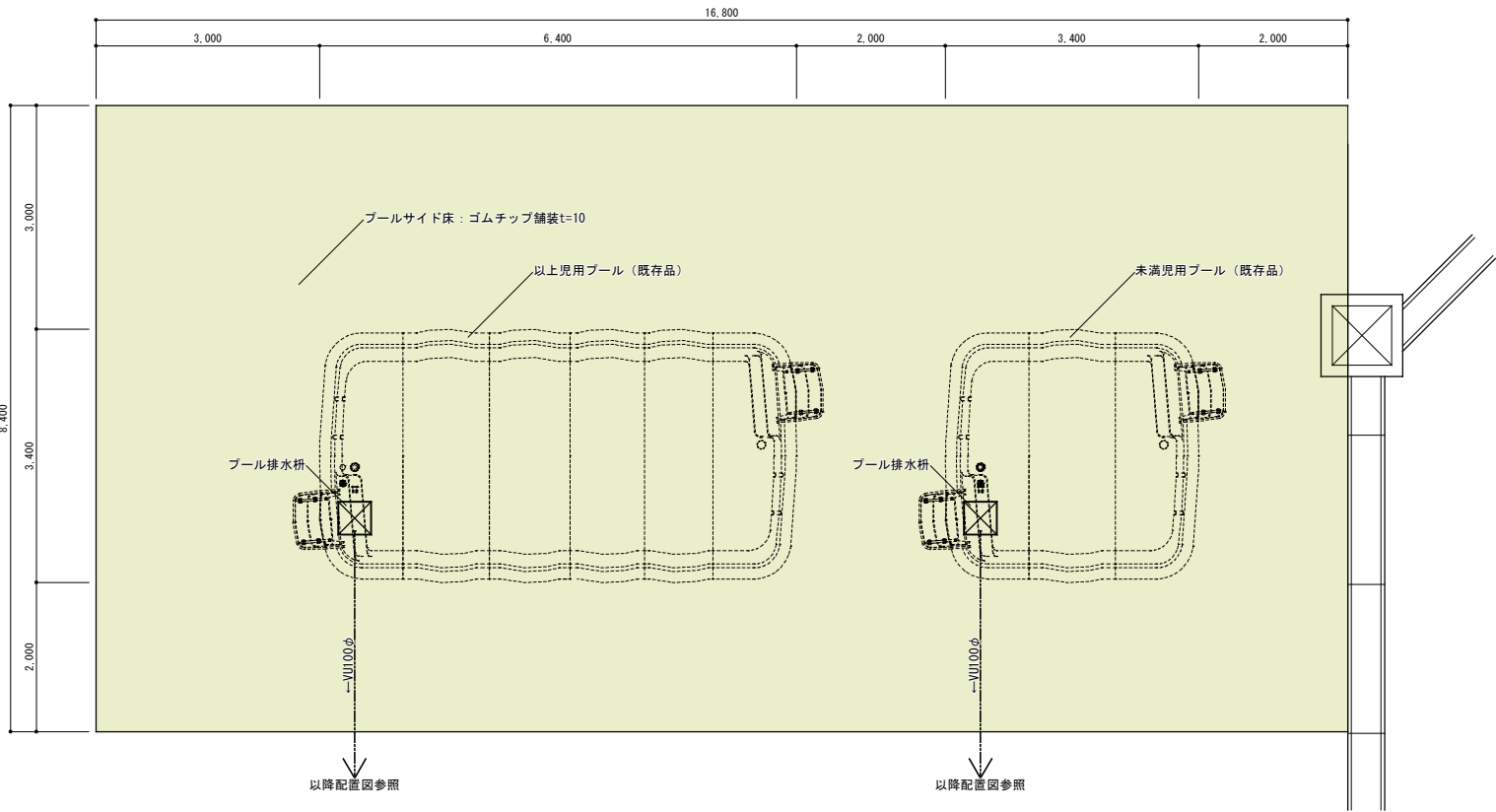
1 : 2 0

フェンス C

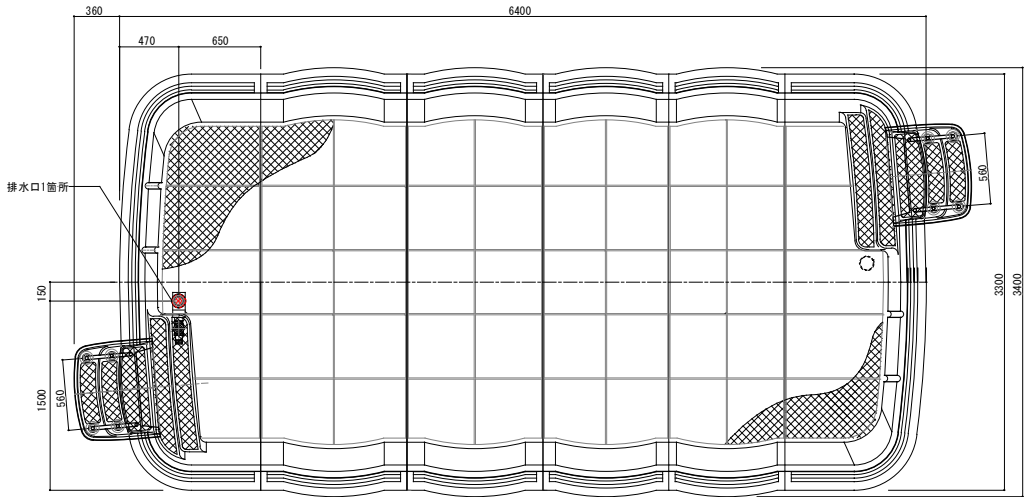
1 : 2 0

門扉 B : 大型戸門扉 縦格子 片引き アルミ型材既製品

1 : 3 0

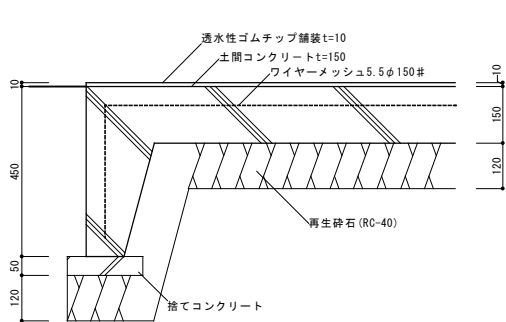


プール廻り平面図 1 : 5 0

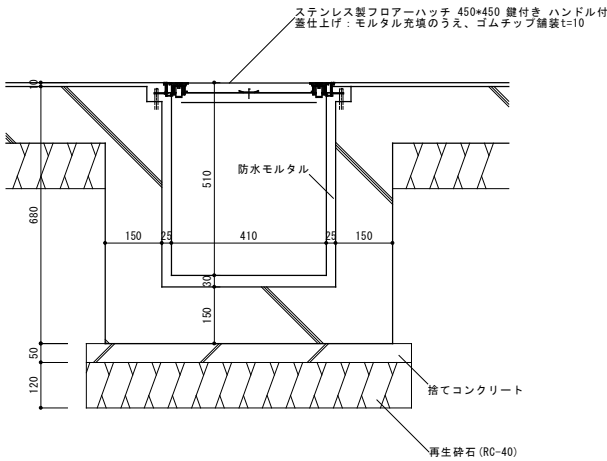


以上児用プール参考図 1 : 3 0

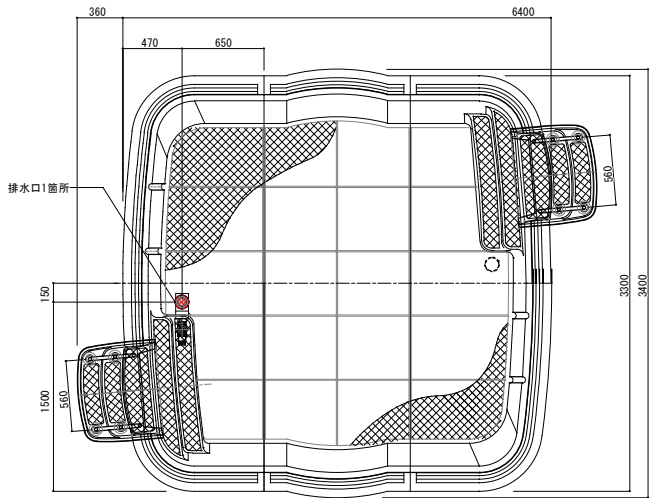
以上児用プール仕様  
材質・規格：FRP製組み立て式  
全長×全幅×高さ：6,760×3,400×690  
水深(mm)：550  
容量(t)：8.8  
備考：FRP製ステップ1ヶ所  
参考品番：ヤマハ幼児用ユニットプール  
きらきら 3×6型



プールサイド一般部 1 : 1 0

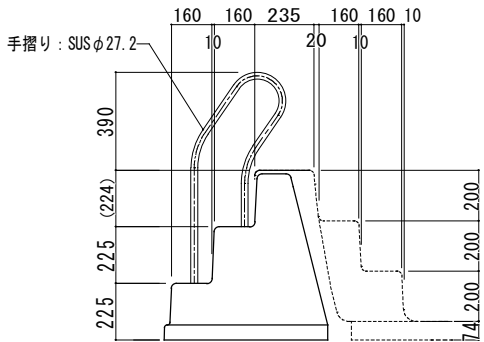


プール排水柵 1 : 1 0



未満児用プール参考 1 : 3 0

未満児用プール仕様  
材質・規格：FRP製組み立て式  
全長×全幅×高さ：3,760×3,400×690  
水深(mm)：550  
容量(t)：4.2  
備考：FRP製ステップ1ヶ所  
参考品番：ヤマハ幼児用ユニットプール  
きらきら 3×3型



ステップ参考図 1 : 3 0



株式会社 堀取建築設計事務所

(管理建築士)  
一級建築士登録 第84341号  
伊澤省吾

社長

主任

担当

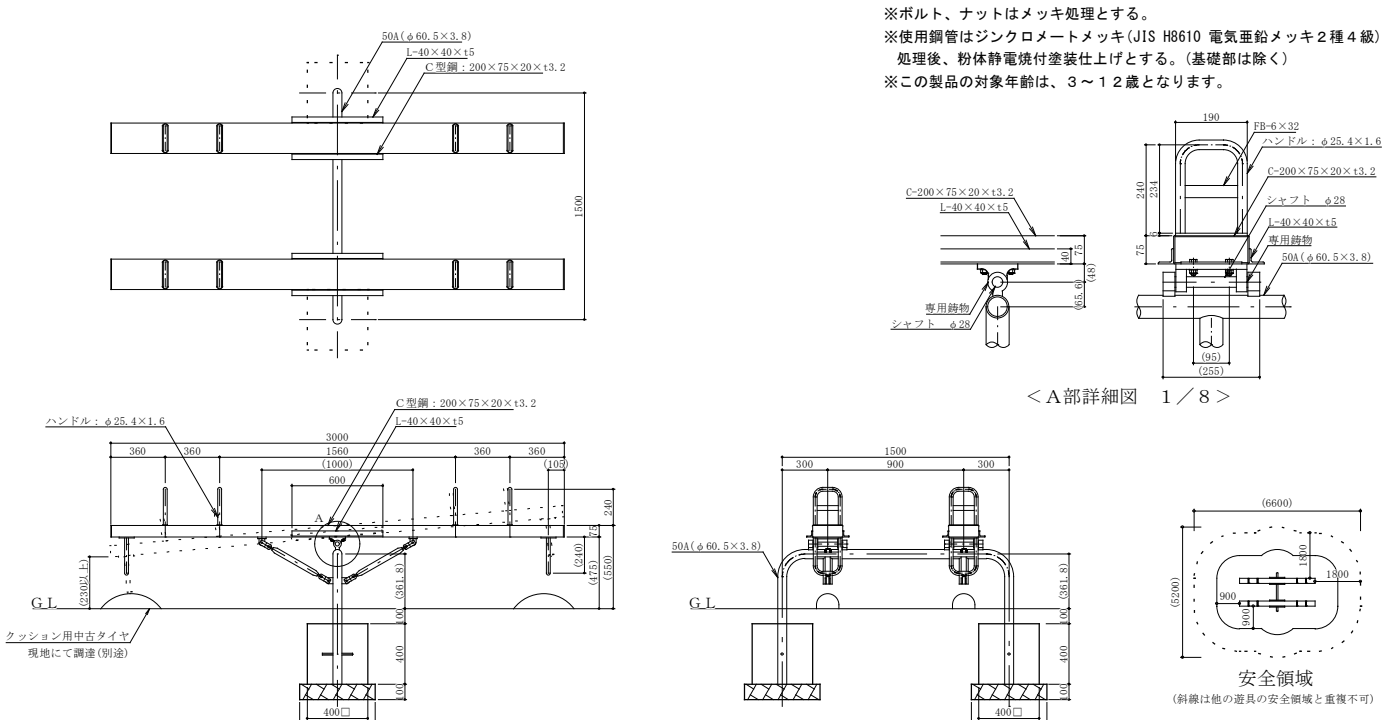
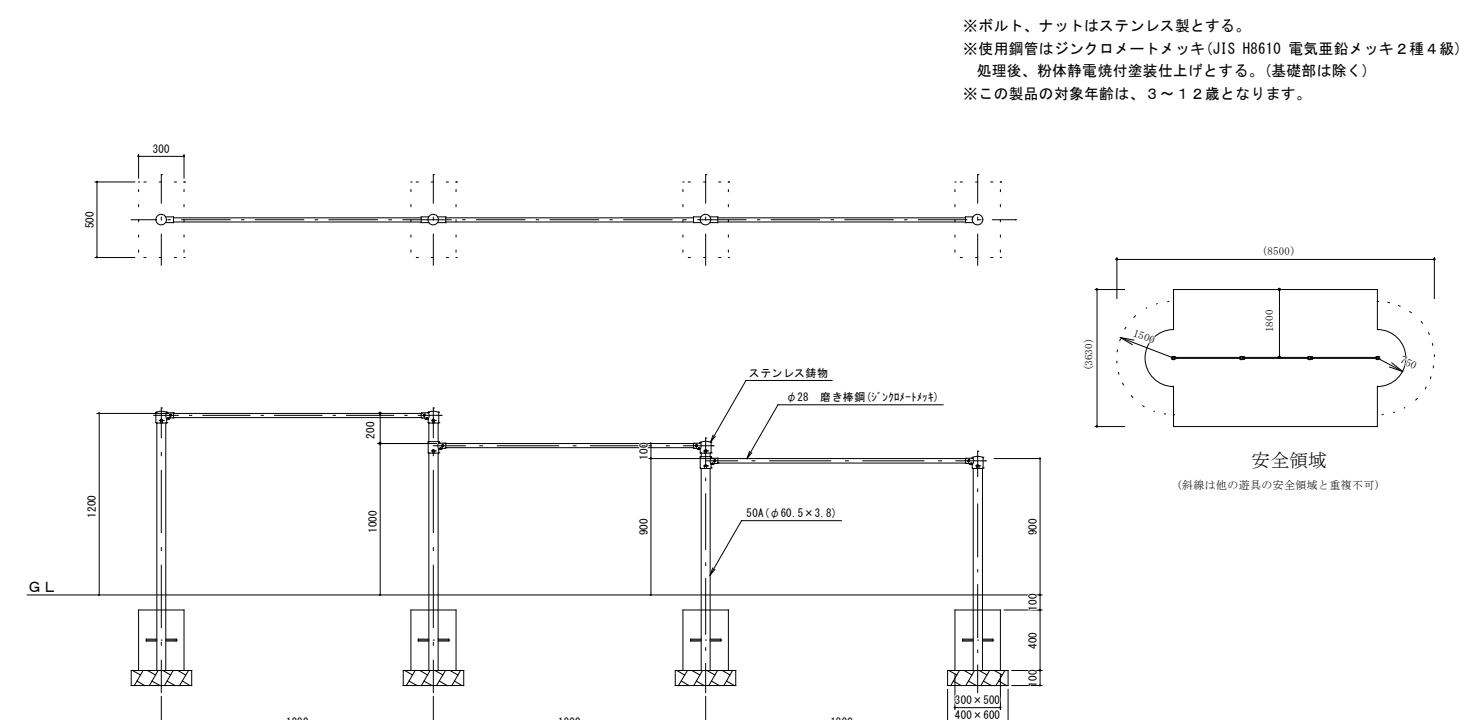
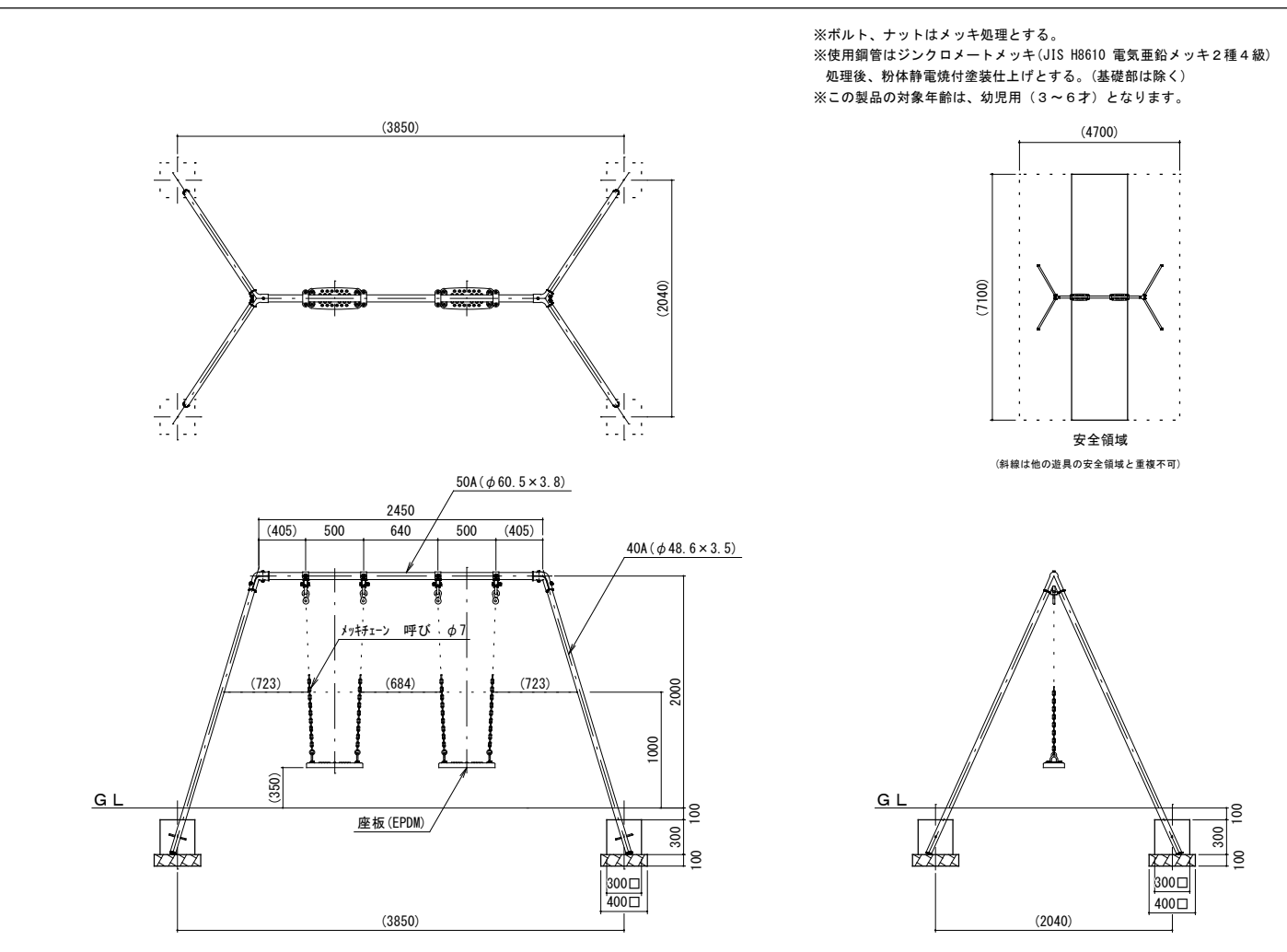
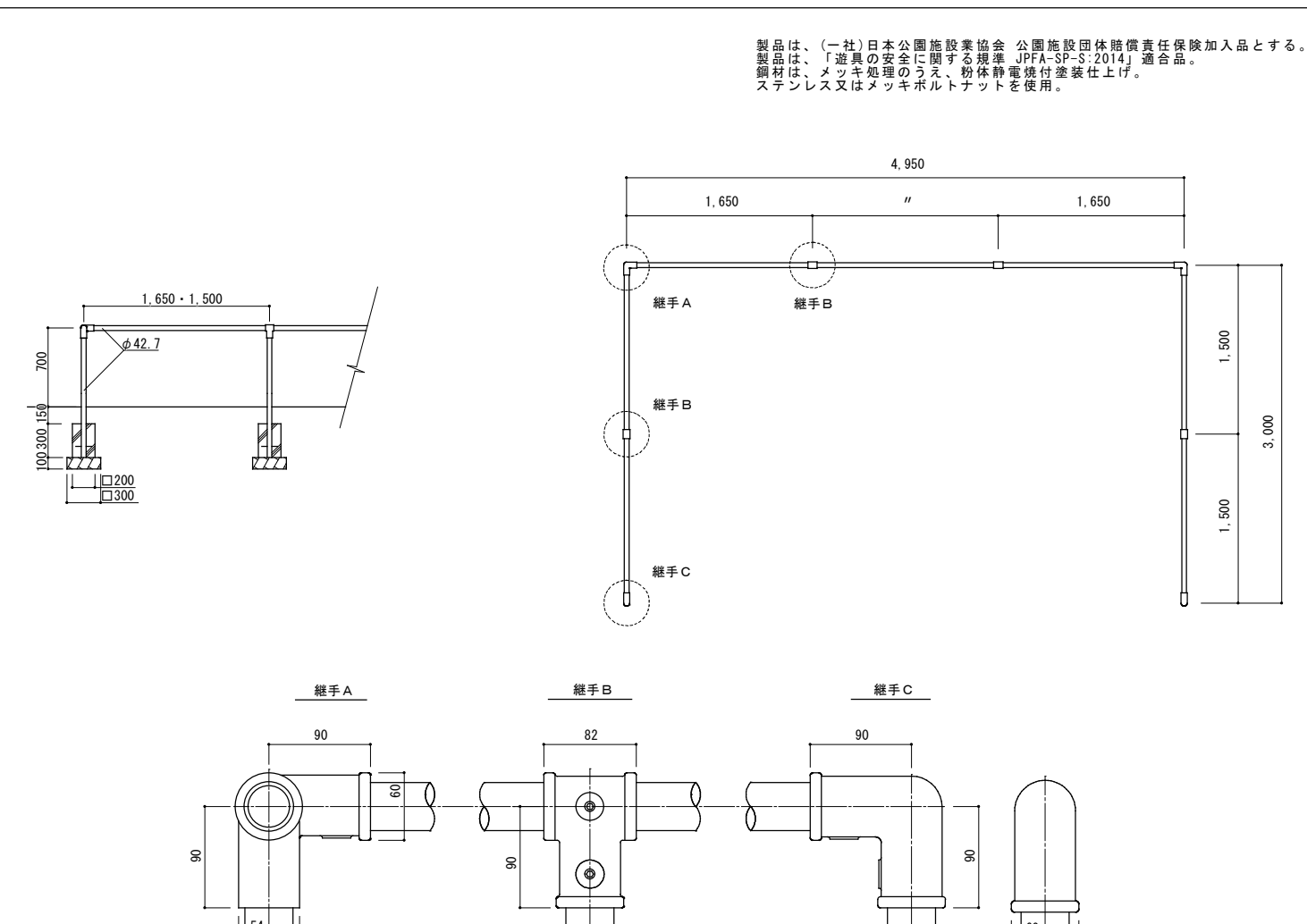
設計者

一級建築士 大坂登録第95032号  
宮脇孝夫

凡例

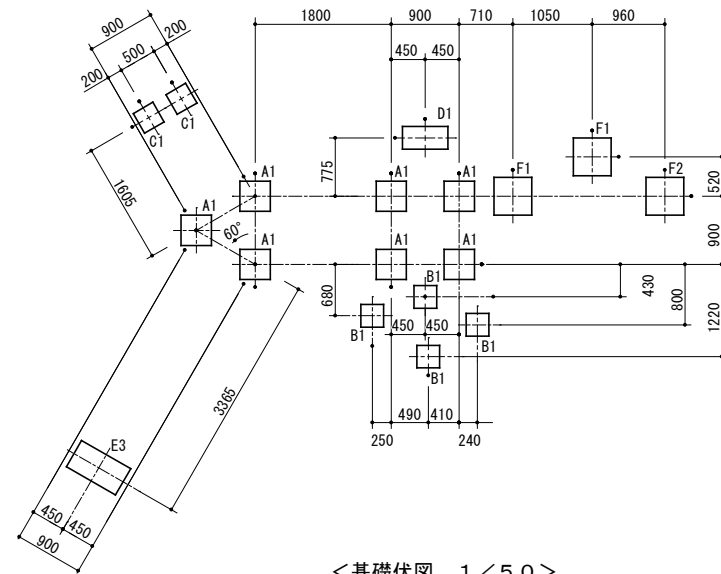
備考



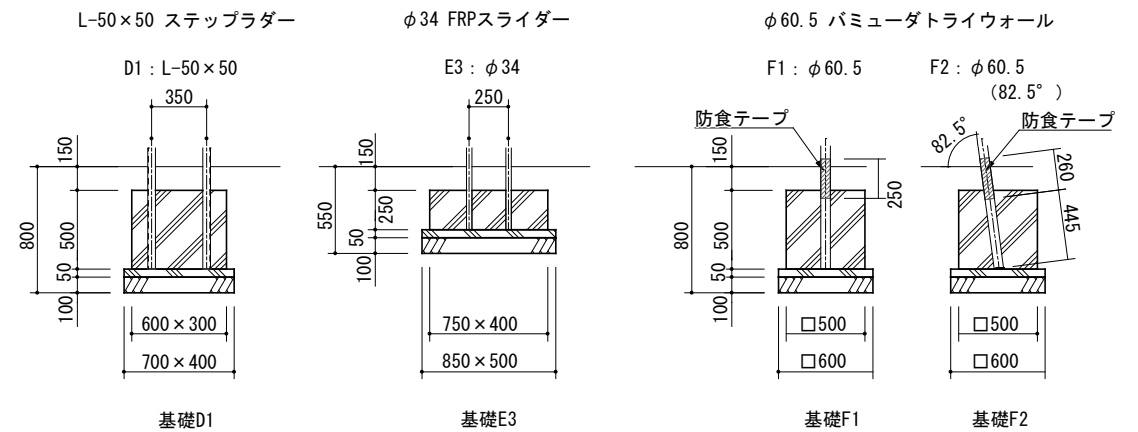
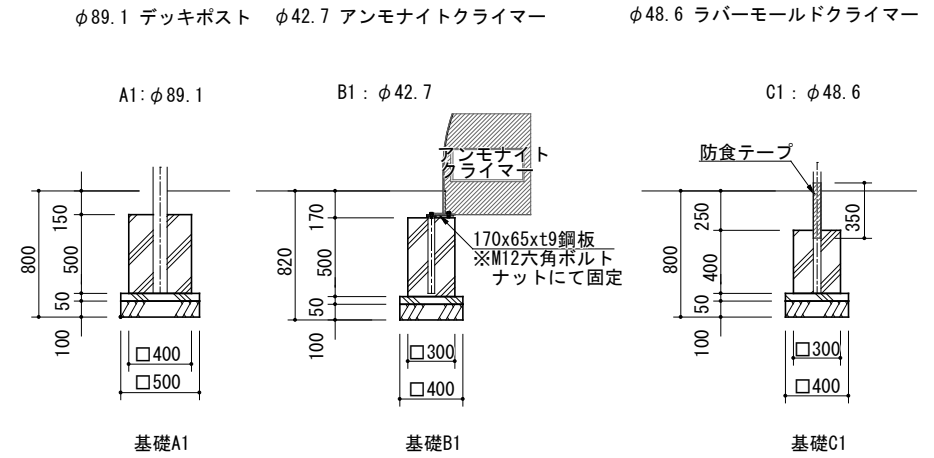
<div>鋼管製2連シーソー</div> <div>1 : 2 5</div> <div><p>※ボルト、ナットはメッキ処理とする。 ※使用鋼管はジンクロメートメッキ (JIS H8610 電気亜鉛メッキ2種4級) 処理後、粉体静電焼付塗装仕上げとする。(基礎部は除く) ※この製品の対象年齢は、3～12歳となります。</p><p>&lt; A部詳細図 1 / 8 &gt;</p></div>	<div>三間低鉄棒</div> <div>1 : 2 5</div> <div><p>※ボルト、ナットはステンレス製とする。 ※使用鋼管はジンクロメートメッキ (JIS H8610 電気亜鉛メッキ2種4級) 処理後、粉体静電焼付塗装仕上げとする。(基礎部は除く) ※この製品の対象年齢は、3～12歳となります。</p><p>安全領域 (斜線は他の遊具の安全領域と重複不可)</p></div>
<div>中型2人乗りブランコ</div> <div>1 : 3 0</div> <div><p>※ボルト、ナットはメッキ処理とする。 ※使用鋼管はジンクロメートメッキ (JIS H8610 電気亜鉛メッキ2種4級) 処理後、粉体静電焼付塗装仕上げとする。(基礎部は除く) ※この製品の対象年齢は、幼児用 (3～6才) となります。</p><p>安全領域 (斜線は他の遊具の安全領域と重複不可)</p></div>	<div>ブランコ柵</div> <div>1 : 5    1 : 2 0</div> <div><p>製品は、(一社)日本公園施設業協会 公園施設団体賠償責任保険加入品とする。 製品は、「遊具の安全に関する規程 JPFA-SP-S:2014」適合品。 鋼材は、メッキ処理のうえ、粉体静電焼付塗装仕上げ。 ステンレス又はメッキボルトナットを使用。</p></div>



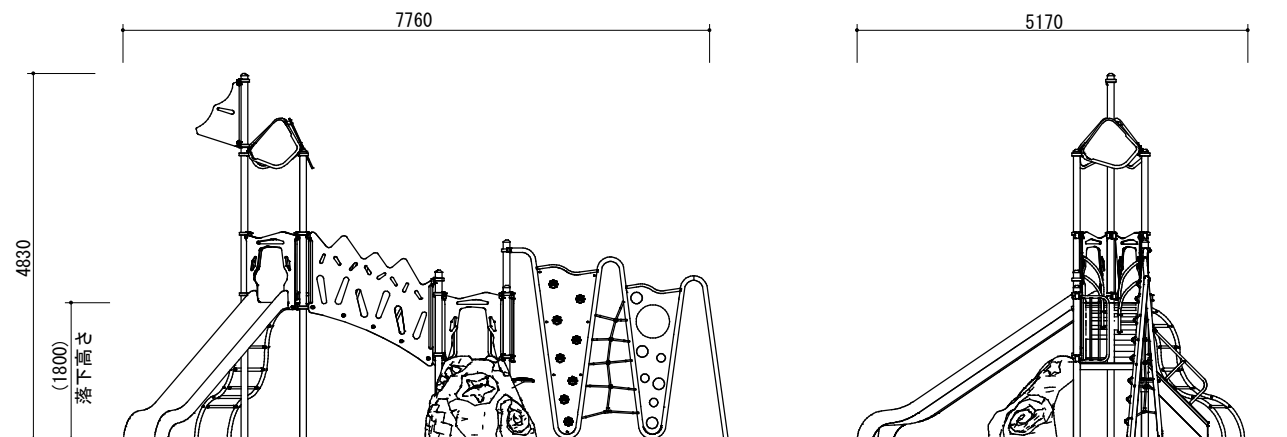
<div data-bbox="136 71 329 92" data-label="Section-Header"><p>スパイラルはんとう棒</p></div> <div data-bbox="1359 71 1430 92" data-label="Text"><p>1 : 3 0</p></div> <div data-bbox="890 128 1472 201" data-label="Text"><p>製品は、(一社)日本公園施設業協会 公園施設団体賠償責任保険加入品とする。 製品は、「遊具の安全に関する規準 JPFA-S:2008」適合品。 製品の対象年齢は、6～12歳です。 鋼材は、メッキ処理のうえ、粉体静電焼付塗装仕上げ。 メッキボルトナットを使用。</p></div> <div data-bbox="258 228 1252 777" data-label="Figure"></div>	<div data-bbox="1549 71 1855 92" data-label="Section-Header"><p>プール水飲み (がまガエル水飲み)</p></div> <div data-bbox="2763 71 2834 92" data-label="Text"><p>1 : 1 0</p></div> <div data-bbox="2377 128 2843 191" data-label="Text"><p>※ボルト、ナットはメッキ処理とする。 ※使用鋼管はジंकロメートメッキ (JIS H8610 電気亜鉛メッキ2種4級) 処理後、粉体静電焼付塗装仕上げとする。(基礎部は除く)</p></div> <div data-bbox="1570 201 2825 758" data-label="Figure"></div>
<div data-bbox="136 854 305 875" data-label="Section-Header"><p>太鼓梯子 (置き式)</p></div> <div data-bbox="1394 854 1466 875" data-label="Text"><p>1 : 2 5</p></div> <div data-bbox="905 919 1486 1008" data-label="Text"><p>製品は、(一社)日本公園施設業協会 公園施設団体賠償責任保険加入品とする。 製品は、「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」適合品。 製品の対象年齢は、3～6歳又は6～12歳です。 鋼材は、メッキ処理のうえ、粉体静電焼付塗装仕上げ。 ステンレス又はメッキボルトナットを使用。 製品は、着脱可能な構造となっています。クイで固定してください。</p></div> <div data-bbox="246 1068 1371 1785" data-label="Figure"></div>	<div data-bbox="1549 854 1777 875" data-label="Section-Header"><p>砂場水飲み (磁器水飲み)</p></div> <div data-bbox="2763 854 2834 875" data-label="Text"><p>1 : 1 5</p></div> <div data-bbox="1513 1045 2843 1877" data-label="Figure"></div>



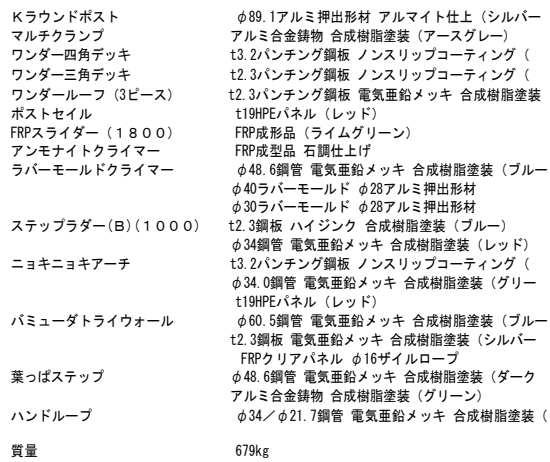
＜基礎伏図 1 / 5 0＞



<基礎詳細図 1 / 50>




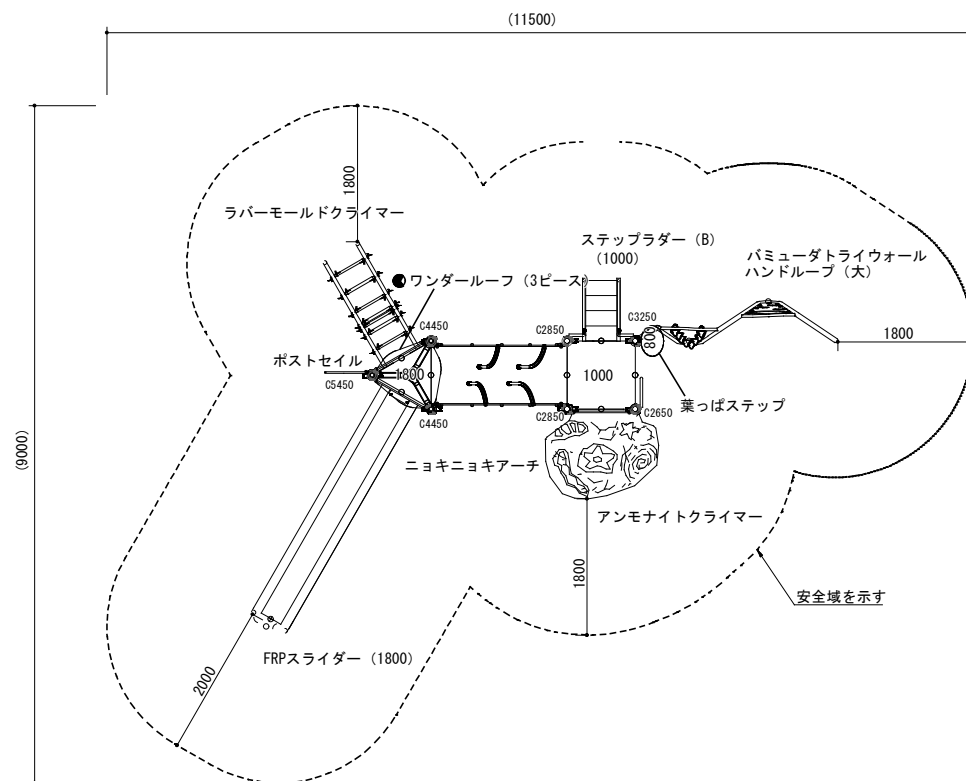
<外觀図 1 / 5 0>



- ・本製品の専有スペースとしての安全域を確保すること。
- ・落下等による危険を最少にするために安全域内の設置面には適切な衝撃吸収性をお有する材料を敷設すること。
- ・本製品はおおむね3才～12才を対象にデザインされています。
  - ・本製品はJPEA-SP-S-2014に準拠した製品です。
- ・本製品は（一社）日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用します。

## 一、〈凡例〉

ワンダールーフ (3ピース) : イエロー  ブルー



<平面図 1/50>

